

新事業への取り組み協議会開催(第二、三回目)

協議会だより第89号(9月発行)でお知らせした標題の会、第一回目では事業概要のみの説明でしたが、より具体的な内容の説明を目的として、第二回目を区長各位と当協議会役員を対象に、第二回目は各集落で中山間地域等直接支払と多面的機能支払の両制度を運用中の役員(おもに三役)さん方を対象に、協議会を開催しました。

安心院支所長、本庁農政課の担当主幹より当事業(農村RMO)の趣旨や意義につき前回より一層詳しく説明されたのにつき、安心院支所・地域振興課の担当者から、当事業で取り組もうとしている具体的な内容案について説明願いました。

そのあと、フリートーク形式での活発な質疑応答を経て、当事業への応募を前提に進めるとの基本的合意が成りました。

これから、推進体制の編成、事業計画書のまとめ、行政への正式申請手続きなどの段階に移りますが、地区のみなさまへの報告・連絡・相談をしながら進めて参ります。

市内他まち協からの視察来訪

11月6日、四日市北地区まちづくり協議会の秀平信介会長さんほか、役員7名の方々が視察に来られました。

同協議会とはことし5月に市内19番目のまちづくり協議会として設立されたばかりで、活動計画の策定にあたり、深見・佐田・津房の3協議会の活動を参考にと見えられたものです。



丸田の棚田だより(10月)

☆☆☆ 脱穀作業と粃摺り結果 ☆☆☆

10月13日の稲刈り・掛け干しに続く作業として、10月28日、委員全員と友情支援者の15人が、脱穀班と休耕地の草刈班の二手に分かれて作業をしました。

ようやく調達できた“ハーベスタ”と地元委員が提供のコンバインを併用しての脱穀作業は順調に進み、3時間ほどで完了しました。一方、草刈り班は、すっかり長けたセイタカアワダチソウや繁茂するササ竹に手こずり、6時間ほどの作業となりました。

収穫した粃は農協ライスセンターで粃摺りしてもらいましたが、なんと!

28袋(14俵)
もの収穫、大豊作!
(圃場面積: 1反8畝)



↑ハーベスタ活躍中



☆☆ 掛け干し米販売します ☆☆

今回収穫した棚田の掛け干し米、地区内外の方々にもご賞味頂きたく下記の要領で一般販売致します。

本当に美味しいお米の体験用として購入いただき、また、津房の棚田再生の端緒となる今回の事業を発展させるため、地区外のお知り合いの方にも口コミでお伝え願えればと、ご案内します。

《要領》

- 棚田の掛け干し米「津房のめぐみ」
(品種: ヒノヒカリ)

- 販売単位 : 紙袋入り白米 2kg

- 販売価格 : 2,500円

- 販売場所 : 津房地区まちづくり協議会
安心院町六郎丸 666-2 (津房地区公民館内)

- 連絡先 : 電話: 0978-48-2001
Mail: tsubusa@oct-net.ne.jp
担当: 岡 又は 井福



ご寄付のお知らせ

安部 平吾さん(小田)より
「ご令室 照美様(ご逝去へ享年八十八歳)に際しての香典返しの際として、多額の「寄付をいただきました。当協議会の活動費として活用させていただきます。ご意向にお応えして参ります。」

裏面に花の寄せ植え教室
募集記事掲載してます!

高齢者世帯への夕食お弁当お届け事業

今期の第1回目として、11月16日に区長各位の宅配ご協力により、該当の方々161人へお届けしました。

いつもの女性部会三役と女性ボランティア Gr.から成る11人の調理による栄養バランス良好、心のこもった「元気になるまごころ弁当」でした。

今回のごはんは、津房小学校への食育支援事業で収穫した“もち米”と深見地区のAさん提供の「みとり豆」を組み合わせた“おこわ”が特徴でした。また、みんな大好き“サトイモの煮ころがし”に使用した食材は元永淳一さん(萱籠)の差し入れ品です。

当協議会へ「ふるさと納税」を寄せられた方々のご厚志、声掛けを兼ねて宅配いただく区長さんの善意、献立会議・食材調達・前日の仕込み・当日調理といった3日がかりの女性部会員の心意気、と一緒に込められた弁当でした。



盛り付け作業